

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [労働組合](#) | [労働安全衛生](#) | [安全衛生活動で大切なことは何でしょうか](#)
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[組織活動](#)[組織運営と法律](#)[労働安全衛生](#)[経営対策活動](#)[教育・宣伝活動](#)[労働時間をめぐる諸問題](#)[教育活動](#)[選挙活動](#)[組合組織（公務員）](#)[教育カリキュラム](#)

安全衛生活動で大切なことは何でしょうか

生活・人生は妥協の連続です。しかし安全衛生に妥協はありません。命・健康障害は一度失くせば二度と戻らないからです。

だから、安全第一なのです。安全第一は「経営方針」として掲げられたものです。安全標語ではありません。生産よりも安全を優先する経営の基本的な理念だったのです。

私たちはこの歴史的事実から学ぶべきなのです。

「安全衛生に対するキーワード」を冒頭に提起したのは、「安全に妥協なし」の決意をしっかりと持つためなのです。

安全衛生に対する知識や行動、態度について造詣が深くて、工程の遅れに、業務や仲間の事情に、そして自身に妥協したこと、取り返しのつかない事態となる。このような妥協による後悔があってはならないのです。

安全衛生に対するキーワードに限りはありませんが、ここでは安全衛生活動に必要な代表的な3点について掲げます。

第一は、安全衛生は「**実践哲学**」だということです。

実践とは「知行合一」、哲学とは「人間尊重」のことです。「知識と行動、理論と実践の一体化」のことで、それは労働を通して幸福を求める労働者を大切にするためにです。

第二は、「**相互補完**」です。職場の同僚、上司・部下、そしてその環境の中で合同で業務を行う労働者が、誰彼となく声を掛け合う、相互に注意し合う、補い合う「声掛け活動」です。この相互補完活動は、「東ねの知恵」として安全衛生活動を高める力ともなります。

第三は、安全行動への「**勇気**」を出す、ということです。

「危ない」「おかしい」と思ったら作業を一旦中止し、直ちに「報告・連絡・相談」をし、点検・チェックを行い、「危険・おかしな要因」を明確にする、排除するということです。

一時的な業務中断は生産性を低下させますから、大変な勇気を必要とします。日常の職場生活、定常活動の逸脱につながる行動には知識や経験とは別に「勇気」がいるのです。

まず、安全衛生には、それに対する「決意・自覚」が重要なのです。

[▶ キーワード検索はこちら](#)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

